

臨床研究のお知らせ

研究名称「大腸穿孔症例の治療法に関する検討」

1.研究の対象

2013年4月から2018年3月の間に大腸穿孔の診断となった症例

2.研究目的・方法

研究目的: 大腸穿孔は敗血症性ショックに至ることが多く、いまだに予後不良な疾患です。救命率向上のためには、迅速な診断と手術、適切な周術期管理が必要ですが、特に循環動態が著しく不良な場合の、最適な術式選択（二期的手術を含む）、術後集中治療の流れといった治療戦略が非常に重要となります。大腸穿孔に対する当院での治療方針、治療成績などについて検討し、予後の改善を目指します。

方法: 当院において、2013年4月から2018年3月までに大腸穿孔の診断となり加療を行なった患者について、その治療方針（手術療法、保存的加療）、術後管理（体外循環、人工呼吸器、抗DIC治療など）、予後につき検討する。

研究期間: 2018年9月1日から2020年3月31日

3.研究に用いる試料・情報の種類

情報: 穿孔の場所、原因、バイタルサイン、病院での処置・治療内容、入院日数、死亡の有無、等

4.個人情報に取り扱い

個人のプライバシーに関する情報は守られ、個人が特定されることはありません。

5.研究組織

研究機関: 国立病院機構横浜医療センター救急科

研究責任者: 望月聡之

6.お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

当施設研究責任者: 国立病院機構横浜医療センター救急科 望月聡之

連絡先: 045-851-2621 (代表)

*** 平日、9時～17時に御連絡下さい。**